【草花の部屋】

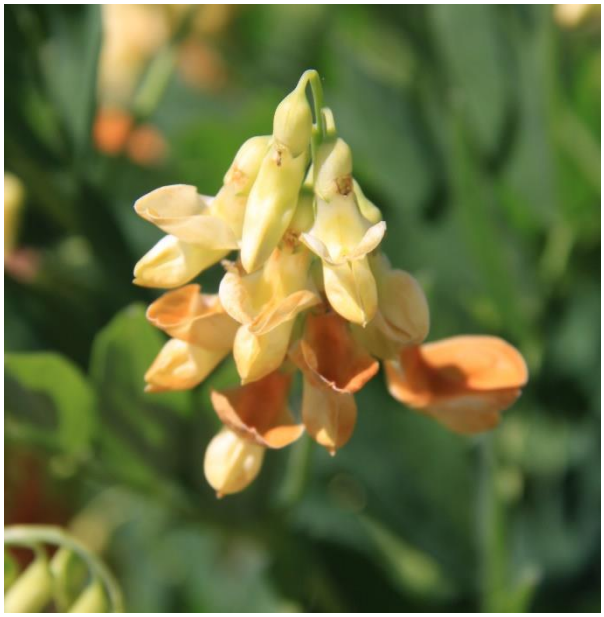
イタチササゲ（マメ科レンリソウ属　Lathyrus davidii Hance ）

和名：イタチササゲ（鼬大角豆）　別名：　　英名：

マメ目　多年草　　原産地：

花言葉：　　花の色：黄

←↓ 写真-１、２　イタチササゲ
撮影日：2015 年 07 月 14 日
撮影場所：シーニゲ・プラッテ
高山植物園(スイス)にて
撮影者：M　さん



シーニゲ・プラッテ高山植物園内を散策中に見かけた花です。帰国後、調べて解りました。

葉は偶数羽状複葉で先端は分枝した巻きひげとなり、基部には大形の托葉（たくよう）があります。

小葉は 4～8 枚で楕円形ないし卵形、裏面は白緑色。花は 7～8 月、葉腋（ようえき）の総状花序に 10～30 個つき、黄白色でのちに黄褐色に変わります。また、花冠中ほどで直角に上に向きます。

名前は、この色がイタチの毛色に、また豆果がササゲに似ているのでつけられたそうです。

ほぼ、日本全国に分布し、乾いた林内や林縁にはえる多年草ですが、近畿ではまれな植物だそうです。

京都府では、絶滅寸前種に指定されていますが、府内の自生地は過去に 1 か所(南丹地域)が確認されているだけで個体数も数株しかないそうです。しかも 2002 年版レッドデータブック刊行後の調査では、全く確認されなかったそうです。

＜ちょっと一言＞

シーニゲ・プラッテ高山植物園（アルペンガーデン）は、標高約1950mから2000mの山岳地帯に約600種類もの高山植物が、その植物が本来、生息している環境（岩山、ｶﾞﾚ場、草原など）をできる限り再現した植栽にしているそうです。散策路も整備され、ちょっとしたトレイルも兼ねたような高山植物園。数々の花が名札付きで見られて便利。全部を観察するには、二時間ほど・・。

植物園の総面積は8,323㎡。2008年に兵庫県神戸市の六甲高山植物園と姉妹提携。約1時間弱の散策でしたが、エーデルワイスをはじめ、普段、なかなか目にすることのできない植物を堪能しましたが・・。種類と量に、少々、食傷気味に・・。ハイキング中に見かけた時のような感動は・・。

1893年に開通した伝統の登山鉄道で、高低差1383mのルートをゆっくりと上った所にありました。車窓からアルプスの山々や、眼下にインターラーケン、トゥーン湖、ブリエンツ湖の眺望も楽しめました。